



NEDO事業 AR(Accompany Runner)

2024年3月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミューザ川崎セントラルタワー（総合受付16F）
TEL : 044-520-5170 FAX : 044-520-5177 E-mail : inv-caravan@nedo.go.jp

市村 慶信

株式会社プロメテウス
代表取締役



大学卒業後、国内電機メーカーの半導体販社に入社。営業担当として業務を通じて電子機器製造に関連するサプライチェーンの理解を深めた。その後、2007年に家業の電子部品商社に転職。傷んだ経営の立て直しを行いながらベンチャー企業への経営支援や提案を実施。

2014年に電子機器を中心とするハードウェアの事業化支援コンサルティングを行う株式会社プロメテウスを創業し、スタートアップ、非製造業の事業会社を中心にプロジェクト内のメンバーとして開発・量産支援だけでなく、事業開発を中心にサポートを実施。

上記の経験をベースに筑波大学での起業家育成プログラムのメンターやスタートアップアクセラレーションプログラムのディレクターなどで創業前から事業計画含めたビジネスプラン策定や課題解決に向けたアクションプランの提案などのアドバイスを行っている。

小高 大祐

株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)
R&Dコンサルティング事業本部
技術・開発戦略ユニット チーフ・コンサルタント



【略歴】

2017年 大学院で工学系研究科を修了
2017年 (株)日本能率協会コンサルティング入社
2020年 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)出向
2022年 (株)日本能率協会コンサルティング 帰任
2024年 同チーフ・コンサルタント

ものづくり企業を中心とした事業開発領域のコンサルティングに従事。特に、技術戦略策定、技術を核にした新規事業創出に取り組む。これまでに、自動車、電機、建設、化学業界等に対してコンサルティングを実施。

近年は、弊社共同運営の先端技術商業化アクセラレーター合同会社(ACAT LLC)の活動にも参画し、先端技術の商業化に向けたスタートアップ創出支援や大企業とスタートアップの連携による事業シナジーの創出、オープンイノベーション活動にも取り組んでいる。

【自己PR】

研究開発の成果である技術の強みを社会や顧客の嬉しさにつながるストーリーに変換し、価値が社会に浸透・定着するよう泥臭く伴走します。

加々美 綾乃

CIC Japan 合同会社
CIC Institute アシスタント・ディレクター



専門は分子生物学・遺伝学。

博士(理学)取得後、文部科学省に入省しライフサイエンス分野の研究開発政策や日本医療研究開発機構(AMED)の設立、初等中等教育のICT化などに携わる。2017年にマサチューセッツ工科大学System Design and Management専攻(修士課程)に留学し、スタートアップ・エコシステムの研究に取り組む。修士論文は「日米のバイオテック・スタートアップ・エコシステムの比較分析」。

2019年に帰国し、科学技術・イノベーション政策全般や核融合研究開発の担当を経て、2021年7月よりCICに参画。

現在、CIC Institute アシスタント・ディレクターとして、ライフサイエンス分野を中心にスタートアップの成長支援プログラムや海外展開支援プログラム等を担当。

東京大学理学部生物化学科卒業。同大学大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了。同博士課程単位取得退学。

神谷 誠

国立大学法人筑波大学 准教授(アントレプレナーシップ教育)



製造業での製品開発・海外プロジェクト管理、経営コンサルファームでの新規事業立ち上げ・業務改革を経て、2021年1月より現職。

製造業では、三菱ロジスネクスト株式会社などにて、産業機械の自動運転(ワイヤ)の開発・プロジェクト管理などに従事。

経営コンサルファームでは、株式会社メディオクリタスにて、新規物流サービスの事業構想や開発プロセス改革に従事。

2012年、アリゾナ大学航空宇宙学科修士課程修了

2016年、東京大学エグゼクティブマネジメントプログラム修了

2020年、ソフトバンクアカデミア(孫正義後継者コミュニティ)入校

趣味の空手では、ラスベガスの国際大会にて優勝。また、NPO法人を立ち上げ、海外での武道教育の普及に尽力。

熊谷 孝幸

ティーエスアイ株式会社 代表取締役社長



大阪大学大学院博士課程修了。専門分野は光学・物性物理。独立行政法人日本学術振興会特別研究員(DC1)として研究を行いながら、複数の大学発ベンチャーの立ち上げに携わる。

2015年ティーエスアイ株式会社の前身であるテクノロジーシードインキュベーション株式会社に入社。執行役員、取締役を経て2021年11月より代表取締役社長。事業化及び事業成長に従事し、業務内容はベンチャー投資及びハンズオン支援、JSTのSTART事業プロモーター、NEDOの事業カタライザー・AR、大手企業とベンチャーのマッチング、M&Aアドバイザー、資金調達支援、海外での事業開発サポートなど。株式会社JAVIS Venturesの代表取締役としてベトナムを始めとする東南アジアのベンチャー企業への投資育成を行っている。

小駒 皆子

株式会社マルチタスク・カンパニー
代表取締役社長兼CEO(1995年から現在)



頌栄女子学院英語短大卒業後、銀座ソニービルショールーム勤務中、留学費用を貯め、80年に米国コネチカット州立大学にて、Information Systemsを卒業。

82年よりソニーアメリカのカスタマーインフォメーションセンター現地採用。夕方にコロンビア大学院に通う。1985年中退し、ソニーアメリカも退職し、パリにて2年間国際交流NPOの一員として従事。

1987年に帰国し1992年までゴールドマンサックス証券会社Information Systems部のPVとして勤務。1993年から1995年NY本社赴任。

1995年、父から(株)マルチタスク・カンパニーの代取として就任し現在に至る。その間、米国・イスラエル等の海外技術Seedsの日本事業・組織開発や、日本企業の国内・海外事業・組織開発をサポート。

また、シミックグループ人事担当役員、子会社代取、米国企業ERT社の日本法人代取、アイロムグループ監査等委員取締役等の兼務。IRB委員13年目。

“技術・事業・人財シーズを併せて素晴らしい会社に育てるのが生きがいです！”。

近藤 晋

株式会社日本能率協会コンサルティング
執行役員
R&Dコンサルティング事業本部 本部長
シニア・コンサルタント



【略歴】

日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 修了
東京大学大学院工学研究科 MOTコース 単位認定

大成建設株式会社の機械部門を経て、株式会社日本能率協会コンサルティングに入社、現在に至る。NEDO SSAフェロー

【実績】

「事業成果につながる技術戦略の策定」をメインテーマとして、「技術棚卸」、「技術評価とコア技術設定」、「コア技術を起点とした中長期の技術・事業開発計画の策定」等のコンサルティングを自動車、機械、電機、精密、素材系企業など様々な業界で実施。また研究開発成果を起点とした新事業創出のコンサルティングについても多くの実績がある。

また、スタートアップの技術商業化のためのアクセラレーター“ACAT LLC”の運営も行っており、自身もスタートアップの立上げ及び運営を行っている。

【著書・論文】

「コア技術を活用した新規事業テーマの発掘、進め方」、株式会社技術情報協会、2018年(共著)
「技術の用途開発 ～テクノロジー・プッシュ型の新事業創造に関する研究～」第59回全国能率大会 表彰論文、2007年 他

【自己PR】

「あらゆる“技術”と“社会課題”を繋げる」を信条にこれまで様々な企業様のお手伝いをしてきました。優れた技術シーズを保有する皆様のご活躍が日本経済活性化のキーになると考えています。共に悩み、意見を戦わせ、新たな事業を成功させるご支援をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

三枝 裕和

SaiLogic株式会社 代表取締役社長



東京大学大学院経済学研究科(企業・市場専攻)修士課程修了。

株式会社日本総合研究所やPwCアドバイザリー合同会社で経営戦略立案、新規事業開発、事業再生など幅広くコンサルティングを経験した後、リクルートグループに入社。Webマーケティングの新規事業戦略担当マネージャーとして事業を推進。

現在はSaiLogic株式会社を立ち上げ、コンサルティングやベンチャー企業への出資・育成を手掛けながら、家業であるサエグサコオート工業を二代目として引き継ぎ、経営革新に日々取り組んでいる。

坂本 惇

日揮株式会社
未来戦略室 マネージャー



【略歴】

2011年日揮株式会社(現日揮ホールディングス株式会社)へ入社。主に中東、東南アジア諸国のオイル&ガスプラントの設計、建設に携わった後、制御技術及びデジタルをキーワードに“エンジニアリング(技術)”、“事業開発”及び“経営企画”の三本柱でキャリアを積む。現在はCorporate Venture Capitalの企画、立ち上げを行い、スタートアップとの共創、事業支援にも従事する。

NEDO SSAフェロー

【メッセージ】

技術を中心にした事業活動には、市場の大きさ(経済性)や自社の技術的な優位性に加え、社会受容性がカギになると考えています。起業家の皆様と共に悩み、議論を尽くす中で、新たな視点を提供し、皆様の事業のインキュベーションに少しでも貢献できればと存じます。

角田 皓一

角田皓一会計事務所
代表 税理士・中小企業診断士



略歴

- ✓ 同志社大学大学院 法律研究科を修了後、大手税理士法人、デロイトトーマツを経て、会計事務所を創業
- ✓ バイオコミュニティ関西 (BioCK) アドバイザー、OIH Startup Acceleration Program (OSAP) 専門家メンター、NEDO SSAフェロー

経験 / 実績

- ✓ デロイトトーマツでは、新規事業の参入戦略の策定、スタートアップの資金調達の支援、CVCの立上げや投資時のデューデリジェンス、アクセラレーションプログラムの運営等、イノベーションを軸としてスタートアップ / 大企業 / 官公庁向けのコンサルティング業務に従事
- ✓ 現職では、技術系スタートアップの事業 / 財務アドバイザー、大学発スタートアップの創出に向けた伴走支援(起業支援)、再生医療のサプライチェーン検討等に従事

支援スタイル

- ✓ シード・アーリー期のスタートアップや起業のご検討者(研究者等)に、長く寄り添って伴走支援をしたいという思いで、自身の会計事務所を創業しました
- ✓ 土業とコンサルの経験を活かして、事業開発(仮説の構築や検証等)のご支援は勿論、資金調達や会社立上げ・運営に係る実務(コーポレート機能全般)のご支援もさせていただきます

瀬川 秀樹

クリエイブル 代表



(株)リコーに長年勤め、光ディスクのフォトソグラフィ技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。

また、BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。
常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けた。

2014年に(株)リコーを早期退職し、「新規事業のメンタリング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。多くのメンタリング・講演・研修・ワークショップ等を行っている。

イノベーションをキーワードにした4コマ漫画やコラムなどの執筆も行なっている。

世良 信一郎

株式会社イーフープ 代表取締役



上智大学法学部法律学科卒業後、大手特許事務所にて特許から商標まで知財全般を経験し、ベンチャー企業を対象とした知財コンサルティングに従事。

独立後は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)、デジタルハリウッド、独立行政法人中小企業基盤整備機構、経産省の新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業、神奈川県のかながわ成長産業イノベーション事業、NEDOカタライザーにて大学発ベンチャーをはじめとしたIT系、技術系ベンチャー企業を多数支援している。

直近では、ロボットベンチャー、まちづくり会社の新規事業立ち上げにも関わっている。

新規事業立ち上げ、知財戦略、資金調達／クラウドファンディング、まちづくり／地域活性に関する支援を得意としている。

根本 紘志

株式会社ディープロコア
Director, Community Design



DEEPCOREでKERNELのコミュニティデザイン・運営・アクセラレータープログラムを担当。

高校時代より産・官・学のさまざまな教育プログラム設計・運営に関わり、大学院では教育工学(成人学習理論)・科学技術政策分野(Trans Disciplinary Research)の研究に従事した。

現在も分野・年齢・地域を横断した学習・共創を生み出す活動に取り組み続けている。プロボノとして中高生向けの探究学習・アントレプレナー育成プログラムや介護×人材育成にも関わる。

東京大学法学部卒、東京大学大学院修了(学際情報学 修士)。

能登 左知

株式会社カピオン 取締役



IM(インキュベーションマネジャー)として(独)中小企業基盤整備機構と東京都中小企業振興公社の起業支援の現場にて創業支援に過去10年間携わる。2011年(株)カピオン設立。

曾我弘氏と資金調達を目指すスタートアップ向けに支援プログラムを提供する。2016年からNEDO事業カタライザー就任、TCP,STISスタートアップ対象に資金調達支援を行う。

著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)、「シリコンバレー流CXOチームビルディング」(同友館2015)。得意分野はマーケティング、資金調達を目的とするプレゼンテーションの資料作成である。英語/日本語のプレゼンテーションアドバイスを過去多数通算2,000件実施する。

美大出身なのでグラフィックデザインスキルが高い。「私は技術系出身ではないので技術のことは詳しくありませんが、表現のプロです。伝えにくい技術についてわかりやすく表現する方法を具体的にアドバイスしたいと思います。」

Kansas City Art Institute, BFA学士インダストリアルデザイン学科卒業。

廣川 克也

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長 SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー



1993年住友銀行(現三井住友銀行)入行。1998年通商産業省出向、債務保証審査事業、全国新規事業発展基盤調査事業、起業家精神涵養教材開発事業等に従事。

2000年7月銀行復帰、成長企業取引推進担当となり、ベンチャー企業、株式公開志向企業に対する将来性評価による融資業務を担当。

2004年1月同行退職、同年2月より北海道大学知的財産本部着任。

2005年12月より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャーとして着任、起業家に対する事業計画作成、資金調達、販路拡大支援等を実施。

2008年4月よりKIEP研究コンソーシアム事務局長を兼任。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009年、2010年にはGlobalTic@台湾でアジア最優秀賞、2009年I2P Global Competitionではチームを世界一に導く。

2012年より一般財団法人SFCフォーラム設立、事務局長就任。2017年よりSFCフォーラムファンド設立、ファンドマネージャー就任。山形大学客員准教授、(株)キングジム社外取締役など兼任。

福井 達雄

ダイバーテクノロジー株式会社
取締役CFO



■ 経験職種、実績

- ・ ソニー株式会社入社後、固体レーザーや光学デバイス、それら応用製品などのR&Dに従事。在職中Stanford 大学に客員研究員として留学
- ・ その後国研開発テック系スタートアップに転職し、経営・マネジメント層として新規事業の立ち上げにあたる。自ら上市した世界初の測定装置は新機械振興賞を受賞し、現在業界標準として広く用いられている。
- ・ 山梨大学URAとして起業支援等を手掛けたのち、山梨大発認定ベンチャー1号の役員を務める

■ 自己PR

- ・ 山梨大学客員教授、NEDO SSAフェロー（第1期）
- ・ S-Booster メンター、NEDO技術委員、JFRA準認定ファンドレイザー
- ・ テック系スタートアップ支援を行うとともに、JST研究成果実用化人材育成・研修の講師や、大学等にて後進の育成にもあたっている
- ・ 起業、新事業開発などの経験が豊富

前田 信敏

NV Ventures株式会社 代表取締役社長



早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了(MOT/MBA)。

大和企業投資株式会社、ウエルインベストメント株式会社勤務を経て、2019年NV Ventures株式会社を設立。新エネルギー・産業技術総合開発機構事業カタライザー、文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター、内閣府技術委員・アドバイザー、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構イノベーション委員会委員等を歴任。大学発を中心とする研究開発型スタートアップの支援に注力している。

自己PR

『大学発スタートアップをはじめとする、革新的な技術力を持つ、シード・アーリーステージの研究開発型スタートアップに対する事業支援を長年行なっています。ベンチャーキャピタルの経験を活かした資金調達支援や、経営戦略立案支援が得意です。革新的な技術を活かし、スタートアップを立ち上げたい研究者や起業家の方の良きパートナーとして、会社立ち上げやシード資金の調達等のご支援をしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。』

松田 淳

合同会社ALBION 代表社員



1982年生、秋田県出身、秋田県立秋田高等学校卒業、早稲田大学教育学部卒業。

大学在学中から放送作家として活動した後、株式会社アドウェイズにて新規事業の立ち上げや、CVCを管轄するアドウェイズ・ベンチャーズの取締役を務めスタートアップへの投資を担当。

その後、AI・ビッグデータ関連スタートアップDATUM STUDIOにてCFOを務めファイナンス、IPO準備を管掌し、KDDIグループへのM&AによるExitを主導。

現在は、合同会社ALBIONを通じてスタートアップへのサポート、アドバイザリー業務を行うとともに、グローバル・ブレイン株式会社Venture Partner、matsuri technologies 株式会社監査役、Allganize Holdings株式会社監査役、株式会社アロマビット監査役などを務めている。(2024年2月時点)

事業計画の立案から、ファイナンス、管理部門の立ち上げ、IPO準備、内部統制まで、創業期からIPOに向けて各フェーズにおけるコーポレート関連全般の支援を行う。投資家側、スタートアップ側、両サイドの経験を活かしてバランスの取れたサポートを心がけている。

松田 一敬

合同会社SARR
代表執行社員



デジタル地域通貨プラットフォーム提供のDigitalplatformer共同創業者兼取締役。
世界標準のブロックチェーン開発のソラミツ共同創業者。産科遠隔診断のメロ
ディー・インターナショナル取締役。

2000年、北海道にて日本初の地方独立系VCである北海道VC設立。バイオ、遠
隔医療、自動運転&新交通システム、環境等のスタートアップを支援。我が国
の大学発ベンチャー第1号の設立、大学発ベンチャー上場第1号を手がける等
大学等の研究成果の事業化と地域活性化を得意とする。

2011年SARR設立、京都にてKRPと共同でアクセラレータ運営。DSファーマ・アニ
マルヘルス(株)と新規事業探索プログラムを運営(<https://sarr-llc.com/ah/>)。
シリコンバレー・イスラエル・インド・フランスを拠点とするBenhamou Global
VenturesにてJapan Advisory Partner。

神戸大学科学技術イノベーション研究科客員教授、文科省国立研究開発法人
審議会委員。JST・RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」プログ
ラム・アドバイザー。NEDO技術員・TCP審査員、JAXA s-boosterメンター、総務
省SCOPE審査員・メンター、SMBC未来アドバイザー等を務める。
慶應大学(経)、INSEAD(MBA)、北海道大学(医学博士)。

<https://sarr-llc.com/> <https://digitalplatformer.co.jp/>

松永 淳

国立大学法人 筑波大学
国際産学連携本部 技術移転マネージャー
BellaDati PTE. LTD. 顧問



東京大学大学院工学系研究科化学エネルギー工学専攻修了。

富士フイルム(株)にて研究開発、技術戦略、ビジネス開発創出、CTO室の各部において実務とマネジメントに従事。VC、大使館商務部等との連携によるグローバル視点でスタートアップとの戦略的アライアンス(少額投資を含む)の切り口で新規ビジネス創出に関わった。

2015年4月から2019年3月迄、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に出向し、研究開発型スタートアップ支援に従事。その間TCP、NEP、SUI、STS、SCA各プログラムの制度設計と実務を通して、多数のスタートアップに寄り添った。

2021年7月から国立大学法人筑波大学にて、「産」の事業ニーズと「学」の技術シーズとのマッチングによる技術移転活動を推進中。

2023年3月からBellaDati PTE. LTD. 顧問を兼務。

南方 郁夫

クラウド・テン株式会社 代表取締役



大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。

パナソニックで約30年間勤務。その間、本社R&D部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタルTV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。国際標準化、国際コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRMなど)過去3回、合計8年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。

①UCバークレー EECS 客員研究員

②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップとEWS向けソフトウェアの共同開発

③米国パナソニックR&D会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーをシリコンバレーのリソースのみを使って起業

2011年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。

シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。

八重樫 馨

i-BuC LLC CEO & President



ドイツの3大化学企業(Hoechst, BYAER, BASF) の一つヘキスト社(Hoechst, 現在、医薬部門は、Sanofi社、スペシャリティケミカルは、Clariant社、基礎化学は、Celanese社とし、それぞれ独立。)で、新事業開発、半導体用フォトレジスト(AZ Photoresist)の国産化、半導体製造用関連機器事業(Hewlett-Packardの技術を買収。)の立ち上げ、国産化、日本企業との共同事業設立等を行う。

その後、リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ米国Celgard Inc. (Polypore International Inc.へ社名変更を経て、後にセパレーター事業は旭化成、他は3Mに売却。)のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社設立、同社代表取締役社長兼務。リチウム一次電池向けセパレーターは当時世界一位、リチウム二次電池向けは世界二位の規模となる。世界最大の鉛電池用セパレーター企業Daramic Inc. をセルガードグループに迎え、同社のアジア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人 Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役も兼務する。

2006年、シリコンバレーのナノテクベンチャー企業NanoGram Corporationの上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。無機系ナノ材料の事業開発においては、主にプリントドエレクトロニクス分野、光学素子分野、また化合物系半導体用材料としての事業開発を行う。パナソニック、シャープ、帝人、DNP、リコー等の日本企業とも共同研究を進めナノ材料の商業化に貢献。同社を帝人株式会社へ売却後、帝人の依頼により、帝人グループのメンバーとしてシリコンバレーで同社の経営に携わる。

2010年に、日本の産業創成を少しでもサポートすべく、大手企業の新事業創造やベンチャー企業支援のために仲間と共にi-BuCを設立しCEO & President に就任する。
その他、求めに応じて、神戸大学経営学部や東京農工大学大学院工学府で非常勤講師を務める。2016年よりTCPのメンター。

柳原 暁

Willsame株式会社 取締役



IT系企業を経て、スタートアップの立ち上げを経験。「Gamechanger's Studio」をコンセプトに掲げるイノベーションスタジオEDGEofにて、スタートアップや研究者、クリエイターといったイノベーターエコシステムをつくり、イノベーションを創出するハブとなる活動に事業統括として従事。大手企業、地方自治体とスタートアップの協業支援に従事。50社以上のスタートアップの事業開発支援、資金調達支援を行う。

大学発スタートアップの事業化並びに、知財、法務、資本政策に関する企業体強化の支援を通し、科学技術の社会実装に邁進するWillsame株式会社にて取締役を務める。

山田 竜也

株式会社インディージャパン 取締役 トレーニングディレクター



【支援内容&スタイル】

本プログラムに応募する方は、ユニークな技術や製品コンセプトを持っている方が多いと思います。そのユニークさを私自身のエンジニアとしての経験も活かしながら正しく理解する事から始めたいと思います。その上で、今度は顧客側の目線で見たらどんな価値があるか、誰がその価値を喜んでくれるか、顧客訪問やインタビューを繰り返しながら一緒に顧客を発見していきます。顧客への価値提案が定まったら、それをビジネスにするためのビジネスモデル作り、そして、ビジネスを具現化するための出口戦略(企業からの出資や業務提携、会社作り)等、顧客の発見から事業化までの一連の流れで各フェーズに合わせた支援をしていきます。大企業との接点も多いので、製造や販売のパートナー等でWIN/WINな関係作りも模索していきます。過去の経験からのアドバイスだけでなく、私自身、最先端の未知の領域を学びながら、価値あるものを世の中に普及させる仲間として協働していきたいので、まずは気軽にご相談ください。

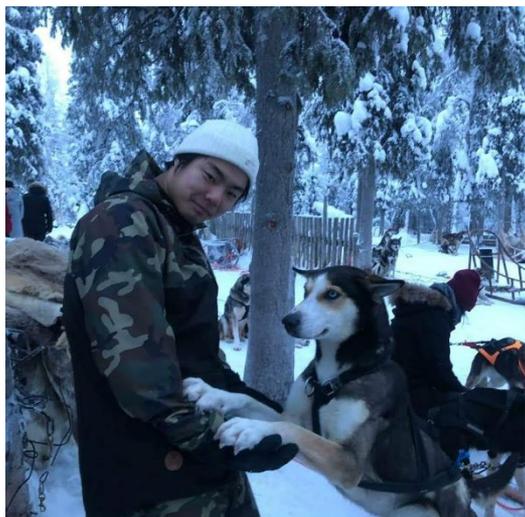
【略歴&実績】

電気通信大学 機械制御工学専攻卒。航空宇宙技術研究所(現JAXA)にてカオス理論を用いたCFDコード開発に従事。電通国際情報サービスにて各種製造業のR&D部門向けに構造・振動・流体等の受託解析を行う。R&Dに特化したコンサルファームiTIDにカーブアウトし、電動工具、複写機、半導体製造装置等の製品開発支援を製品コンセプト作りから、開発、試作、評価、初期流動まで一貫して行う。その後も大手製造業のR&D部門を対象としたコンサルティングを行い。大企業における製品開発の進め方の力学を理解し、製品開発を支援するファシリテーターとしてプロジェクトを支援する。インディージャパン 創業後は、イノベティブな新規事業をテーマに、金融、メディア、通信キャリア、医療サービス、エネルギー等にも範囲を広げ、顧客開発やオープンイノベーションを支援している。

海外旅行好きで世界60カ国以上を巡る。妻と子供の4人家族で現在バックパッカーは休業中。

横山 和輝

株式会社プロッセル 代表取締役CEO



1998年生、富山県出身、新潟市育ち。長岡工業高等専門学校卒業、同校専攻科修了する。

高専在学中のフィンランド留学をきっかけにスカウト型採用サービスProssell、オンラインビジコンを運営する株式会社プロッセルを2020年6月設立。

2020年8月には長岡市役所に入庁し2020年10月に新潟大学大学院に入学。

2021年5月にJ-StartupNiigataに選出。

2022年5月に一般財団法人高専人会理事に就任。

山本 辰久

ボーダレス・プランニング株式会社 代表取締役



境界にこだわらないボーダレスな視点から、ヘルスケア、運輸、食品、製造、環境はじめとする多分野で、事業開発・新規事業立案の支援や人材育成を行っている。

また、海外進出の支援(主にアジア:シンガポール、香港、台湾などに詳しい)と共に、CESその他海外展示会にも同行。

イノベーション関連では、NEDO(TCP、NEP)、SMBC未来X、電力会社、自治体、関西財界傘下組織等主催のスタートアップ支援・起業教育プログラムにて、主にディープテック分野のメンターを歴任。

横浜市役所でまちづくり・交通政策を担当後、株式会社日本総合研究所で官庁・自治体の計画立案・改革支援、企業の中期経営計画策定などと共に、ビジネスモデル特許申請も経験。

この間、神戸大学経営学部助教授としても出向し、産官学全ての分野に精通している。

京都大学 大学院工学研究科 交通土木工学専攻修了
米国ボストン大学 大学院 都市計画学科修了(MCP)

渡邊 貴史

セーフィー株式会社営業本部 部長補佐
第2ビジネスユニット 営業部 公共グループ
兼 経営企画部 IRグループ(CVC運用担当)

【略歴】

日系大手ITコンサルティングファームや日米のコンサルティングファーム、スタートアップ、ベンチャー企業経営等を経て、2022年9月より画像解析ソフトウェアハウスのセーフィーに入社。2023年2月よりCVC兼務。

その他、スタートアップの顧問/アドバイザーとして複数社の経営戦略支援(事業計画・資本政策・資金調達・営業・採用・労務・広報の各種支援)や行政機関の政策検討支援等も行っている。

【公務関連】

2023年10月 内閣府認定バイオコミュニティ 沖縄県バイオアドバイザー (現任)

2023年10月 沖縄県航空関連産業クラスター形成加速会議 委員 (現任)

2022年5月 公益財団法人山形県企業振興公社メンター (現任)

2022年1月 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センターアドバイザーフェロー (現任)

2020年7月 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEPカタライザー (現任)

2019年5月 中小企業庁スマートSME研究会委員

【講演】

2023年10月 沖縄県 スタートアップ・エコシステム構築支援事業 経済資本部会 勉強会 主催：沖縄県

2023年3月 札幌イノベーション政策勉強会～地域実情に即したスタートアップ支援政策実装論～
主催：札幌市

2022年12月 公民連携セミナー「ビジネス関係人口から見た山形県の課題とチャンス」主催：山形県

2022年8月 バイオ関連企業「稼ぐ力」向上応援プロジェクト 第3 回「資本政策・投資家との折衝方法」
～バイオベンチャーにおける資金調達と資本政策とインセンティブとexit～
主催：みらいおきなわ/沖縄県

